



第17回（2014年度）大会プログラム

日時： 2014年11月29日（土）／11月30日（日）

会場： 京都ノートルダム女子大学 新ユージニア館

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地

電話： 075-781-1173（代表）

大学HP： <http://www.notredame.ac.jp/>

アクセス： <http://www.notredame.ac.jp/accessmap.html>

JRをご利用の方

- ・ JR「京都駅」から（地下鉄乗車時間16分）
地下鉄烏丸線「国際会館」行き乗車
→「北山駅」下車、1番出口から東へ徒歩7分
- ・ JR「二条駅」から（地下鉄乗車時間東西線4分・烏丸線10分）
地下鉄東西線「六地藏」行き乗車
→「烏丸御池駅」にて地下鉄烏丸線「国際会館」行きに乗り換え
→「北山駅」下車、1番出口から東へ徒歩7分

阪急電鉄をご利用の方

- ・ 阪急「烏丸駅」から（地下鉄乗車時間10分）
地下鉄烏丸線「国際会館」行きに乗り換え（地下鉄「四条駅」）
→「北山駅」下車、1番出口から東へ徒歩7分

近鉄電車をご利用の方

- ・ 近鉄「竹田駅」から（地下鉄乗車時間22分）
地下鉄烏丸線「国際会館」行きに乗り換え（地下鉄「竹田駅」）
→「北山駅」下車、1番出口から東へ徒歩7分

京阪電車をご利用の方

- ・ 京阪「出町柳駅」から（市バス乗車時間約10分）
市バス4号系統「上賀茂神社」行きに乗り換え（市バス「出町柳駅前」）
→「野々神町」下車すぐ、もしくは「北園町」下車北へ徒歩5分

◎大会スケジュール（要旨）・会場案内

29日（土）

9：30～ 大会受付
10：00～ ワークショップ
13：00～ 会員総会
13：30～ 研究発表
16：15～ 基調講演
18：00～ 懇親会

30日（日）

9：00～ 大会受付
9：30～ 研究発表
11：25～ ポスター発表
13：30～ シンポジウム
16：00～ 閉会式

大会受付 3階 ロビー（初日9：30～大会終了まで）
書籍展示 3階 E303 教室、E302 教室
休憩室 3階 E301 教室、4階 ラミティエ
大会本部 3階 E306 教室

*昼食場所：

29日（土）、30日（日）とも、学内食堂（会場内1F）が利用できます。是非ご利用ください。
ただし、臨時営業（両日とも12:00～13:00のみ、簡易メニューでの営業）となりますので、悪しからずご了承ください。
なお、会場外での昼食は、地下鉄北山駅周辺（会場から徒歩10分程度）、北山通り（徒歩10分圏内）に数軒ずつございます。

11月29日（土曜日）

ワークショップ（10:00～11:40）

A会場 ワークショップ1 [4階 E401]

- 「中断節」の語用論と類型論：自然発話・インターネット・メディアでの使用例を対象に
企画・司会：堀江 薫（名古屋大学）
指定討論者：大堀 壽夫（東京大学）

1. 相互行為の資源としての「けど」中断節構文

横森 大輔（九州大学）

2. 韓国語における中断節構文

金 廷珉（麗澤大学）

B会場 ワークショップ2 [4階 E402]

● 合コンの談話分析：ポライトネスとジェンダーにまつわる規範と実際

司会：谷 智子（近畿大学）

1. 合コンマニュアル本にみられるイン/ポライトネスとジェンダーイデオロギー

柳田 亮吾（大阪経済法科大学）

2. 合コンにおける協働的フレーム構築

谷 智子（三重大学）

3. 合コンに見られるジェンダー・パフォーマンスとフェイスワーク

大塚 生子（近畿大学）

C会場 ワークショップ3 [4階 E403]

● 慣習化をめぐる日本語配慮表現の発想

司会：小野 正樹（筑波大学）

1. 慣習化された日本語配慮表現の発想

小野 正樹（筑波大学）

2. 慣習化されたポライトネスとしての配慮表現の定義

山岡 政紀（創価大学）

3. 配慮表現としての注釈表現に関する一考察

牧原 功（群馬大学）

D会場 ワークショップ4 [4階 E404]

● Love, Sex, and Marriage: Crosslinguistic Comparisons of Conceptual Metaphors

Organizer/Chair: CHIANG, Wen-Yu (National Taiwan University)

1. How Deep Is Your Love?: A Comparative Study of Metaphorical Quantification of “Love”

LIAO, Yu-Hsuan (National Taiwan University)

2. A Study on the Conceptual Metaphors of Sexual Orgasm in 24 Languages

CHIANG, Yen (National Taiwan University)

3. MARRIAGE IS BUSINESS: A Corpus Study of Marriage Metaphor in English and Chinese

CHANG, Debbie Yi-Han (National Taiwan University)

会員総会 (13:00~13:20) [3階 ND ホール]

司会：山本 英一（関西大学）

1. 会長挨拶

林 宅男（日本語用論学会会長・桃山学院大学）

2. 会計報告

長友 俊一郎（日本語用論学会事務局幹事・関西外国語大学）

3. 編集委員会報告

加藤 重広（日本語用論学会編集委員長・北海道大学）

4. 事務局長報告

山本 英一（日本語用論学会事務局長・関西大学）

研究発表 (13:30~16:05)

A 会場 [4階 E401] 日本語発表

① 13:30-14:05 ② 14:10-14:45 ③ 14:50-15:25 ④ 15:30-16:05

司会：秋田 喜美 (大阪大学)

1. 談話における項の形式とその方略

久好 孝子 (国際医療福祉大学)

2. 日本語の直示述語「V-てくる」の歴史—「行為の方向づけ」を表す用法の発達—

澤田 淳 (青山学院大学)

司会：金 アラン (上智大学)

3. 断り発話における程度副詞について—配慮表現としての機能を中心に—

リナ・アリ (筑波大学大学院)

4. 三者間の共同作業における言語行動—親疎関係による課題達成および対人関係調整の相互行為—

ツォイ・エカテリーナ (東京外国語大学大学院)

B 会場 [4階 E402] 日本語発表

① 13:30-14:05 ② 14:10-14:45 ③ 14:50-15:25 ④ 15:30-16:05

司会：服部 明子 (三重大学)

1. 日本人大学生同士の会話にみる重複発話：異ジャンル間比較を通じた機能分析と協調性

竹田 らら (東京電機大学)

2. 第二言語話者である子どもへの story-retelling interview test の会話分析：第二言語会話における「記憶」

岡田 悠佑 (大阪大学)

司会：田中 廣明 (京都工芸繊維大学)

3. 習慣を表す英語進行形の事態解釈を動機づけている推論プロセスについて

原田 依子 (東京電機大学)

4. considering の前置詞・接続詞用法の共時的研究 —レジスターの観点から—

林 智昭 (京都大学大学院)

C 会場 [4階 E403] 日本語発表

① 13:30-14:05 ② 14:10-14:45 ③ 14:50-15:25 ④ 15:30-16:05

司会：滝浦 真人 (放送大学)

1. 普通体／丁寧体世界の規範が授受補助動詞テクレル／テモラウの選択に与える影響

京野 千穂 (名古屋大学大学院)

2. 中国人日本語学習者の「不同意」行為 —ヘッジ使用における母語転移の可能性—

堀田 智子 (東北大学大学院)

司会：金 廷珉 (麗澤大学)

3. 付加的非従属化のマーカ—「みたいな」の統語語用論的分析

劉 曉萃 (北海道大学大学院)

4. 「ノ(ダ)ね」の語用論的機能 —具現化形式と音調の観点から—

市村 葉子 (名古屋大学大学院)

D会場 [4階 E404] ①② English Presentations ③④ 日本語発表

① 13:30-14:05 ② 14:10-14:45 ③ 14:50-15:25 ④ 15:30-16:05

司会：北野 浩章（愛知教育大学）

1. Reconsidering the Validity of Examining Constituent Order in terms of Information Status of Constituents

YAMADA, Yoko (Niigata University)

2. On the Negative Use of the Japanese Intensifier *totemo* 'very'

SAWADA, Osamu (Mie University)

司会：植野 貴志子（東京都市大学）

3. 聞き手が知らない人物の名前披露—日本語会話における有標な指示—

須賀 あゆみ（奈良女子大学）

4. 諷諭とは何か：談話分析的レトリック研究の試み

平川 裕己（神戸市外国語大学大学院）

E会場 [4階 E405] English Presentations

① 13:30-14:05 ② 14:10-14:45 ③ 14:50-15:25 ④ 15:30-16:05

Chair: YOKOMORI, Daisuke (Kyushu University)

1. The Pragmatics of Intelligible Pronunciation in English as a Lingua Franca in Japan

O'NEAL, George (Niigata University)

2. Analyzing the Pragmatic Force of Sentence Final Particles as a Function of Actual Use

KROO, Judit (Stanford University)

Chair: YOSHIDA, Etsuko (Mie University)

3. Demonstratives and Deictic Shift in Narrative

SUGIYAMA, Sayaka (no affiliation)

4. *Gaikokujin ja arimasen* (I'm not a foreigner): An Analysis of the Interactive Construction and Contestation of (not) Being a Foreigner

BUSHNELL, Cade (University of Tsukuba)

基調講演 (16:15~17:45) [3階 ND ホール]

司会：久保 進（松山大学）

— Keynote Lecture —

Speaker: Prof. Michael PERKINS (University of Sheffield)

Title: Explaining Pragmatic Impairment: Finding the Best Fit between Pragmatic Theory and Clinical Data

懇親会 (18:00~20:00)

会場：1階 カフェテリア

会費：学生 2,000円 (値下げしました！)

一般 4,000円

(交流と議論の場です。お一人でもご遠慮なくお越しください)



11月30日 (日曜日)

研究発表 (9:30~11:25)

A 会場 [4階 E401] 日本語発表

① 9:30-10:05 ② 10:10-10:45

司会：谷口 一美 (京都大学)

1. 現代日本語におけるメタファー表現としての「風」の考察—なぜ「先輩風」は吹くのか?—
松浦 光 (名古屋大学大学院)
2. メタファーと発話の連鎖 —「枠組み」設定としてのメタファー表現—
杉本 巧 (広島国際大学)・鍋島 弘治朗 (関西大学)

B 会場 [4階 E402] 日本語発表

① 9:30-10:05 ② 10:10-10:45 ③ 10:50-11:25

司会：井上 逸兵 (慶應義塾大学)

1. 英語の名詞派生形容詞に見られる比喩的意味の前景化
田丸 歩実 (京都大学大学院)
2. 文章理解のメカニズムの解明にむけて —括弧の曖昧性はどのように解消されるか—
黒田 一平 (京都大学大学院)
3. 「ほめごろし」の言語学
大久保 朝憲 (関西大学)

C 会場 [4階 E403] 日本語発表

① 9:30-10:05 ② 10:10-10:45 ③ 10:50-11:25

司会：長友 俊一郎 (関西外国語大学)

1. 多読用教材としての英語母語話者向け絵本における結束性と直示性：文部科学省検定教科書との比較
大槻 きょう子 (広島修道大学)
2. 語用論的観点に基づく高等学校英語教科書の分析：「英語表現I」の事例を中心に
水島 梨紗 (札幌学院大学)
3. 政治的イデオロギーはどのように表象されるのか?—チョムスキーと福島親子との会談—
藤本 大樹 (名古屋大学大学院)

D 会場 [4階 E404] English Presentations

① 9:30-10:05 ② 10:10-10:45 ③ 10:50-11:25

Chair: SHUDO, Sachiko (Waseda University)

1. The Difference between “Otaku” and “Geek” in English: A Frame Semantics Analysis
FIGUEIRO TEIXEIRA, Lilian (Keio University)
2. Gender and Politeness on Conversational Styles in Intercultural Communication
ITAKURA, Hiroko (Hong Kong Baptist University)
3. Exploring the Illocutionary Force of Words Versus Images in Multi-Modal Texts
McDONALD, Peter (J. F. Oberlin University)

E 会場 [4階 E405] English Presentations

① 9:30-10:05 ② 10:10-10:45

Chair: HATA, Kaori (Osaka University)

1. Designed Silences: A Study of Silences in Talk in Interaction
BHATTA, Baikuntha (Kanagawa University)
2. When Not Talking is ‘Talking’: The Functions of Silence
HUI, Jon S. Y. (The University of Hong Kong)

ポスター発表 (A) 11:25~12:25 (B) 12:25~13:25 [3階大講義室]

- A1. Semantic-pragmatic Analysis of Japanese Case Markers ‘Wo’ and ‘De’
CHEE SIONG, Lee (Graduate School of Foreign Languages, Sapporo University)
- A2. Men and Women Interact Differently: Analyses of Compliments among Gender in Japanese Conversation
FUJIMURA-WILSON, Kayo (Yamaguchi University)
- A3. 自己肯定感を育む通級指導学級での実践
石坂 光敏 (東京学芸大学大学院)・権 明愛 (十文字学園女子大学)
- A4. 言外の「文脈的含意」に対して発せられるケドの機能
横田 敦子 (お茶の水女子大学大学院)
- A5. Get 受動文と再帰代名詞を含む Get 使役文の関係—聞き手の解釈に着目して—
久井田 直之 (日本大学)
- A6. 商標の普通名称化の評価をめぐる言語学的分析
堀田 秀吾 (明治大学)・日置 孝一 (神戸大学)・藤田 政博 (関西大学)
- B1. Re-examining the “Sentence-final” Particle Ne in Language Learners’ Conversations
GANIR, Paul (Stanford University)
- B2. 疑問文を引用して主節で答える表現の手続き的意味
山泉 実 (明海大学)
- B3. 疑問文の文末表現に関する日中対照—動詞述語の『の (ん) ですか』諾否疑問文を対象に—
林 香淑 (首都大学東京大学院)

- B4. 日本人英語学習者による意見文の論理展開一言語形式とその機能に着目してー
奥切 恵 (東京医療保健大学)・伊集院 郁子 (東京外国語大学)・小森 和子 (明治大学)
- B5. 日タイ両言語における「申し出」「依頼」に対する「断り」表現の研究ー日本人およびタイ人の社会人を調査対象としてー
福原 美怜 (京都精華大学大学院)
- B6. 異なる談話環境を繋ぐ言語行動ー遠隔会話における対面性構築を中心にー
吉田 睦 (東京学芸大学附属国際中等教育学校)

シンポジウム (13:30~16:00) [3階 ND ホール]

Symposium: Clinical Discourse

Topic: What kind of contribution linguistic pragmatics can do to the studies of interaction in clinical and medical fields?

Chair: KUBO, Susumu (Matsuyama University)

Speakers: UEDA, Teruko (Aomori Public University)

OOI, Manabu (Kanazawa University)

KATO, Sumi (Aomori Chuo Gakuin University)

Commentators: HAYASHI, Reiko (Konan Women's University)

MATSUI, Tomoko (Tokyo Gakugei University)

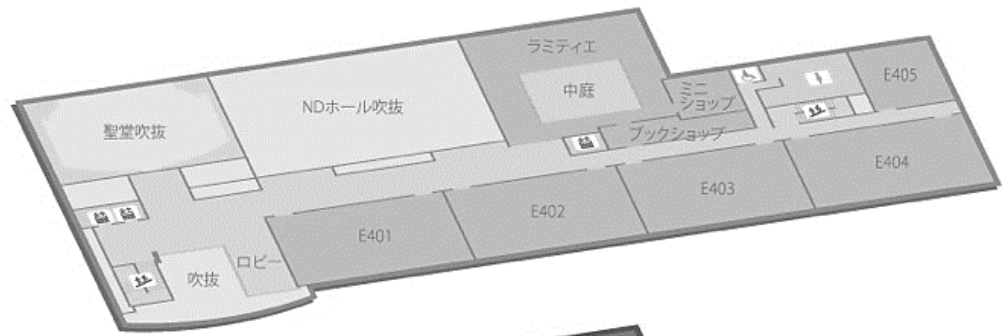
PERKINS, Michael (University of Sheffield)

閉会式 (16:00~16:10) [3階 ND ホール]

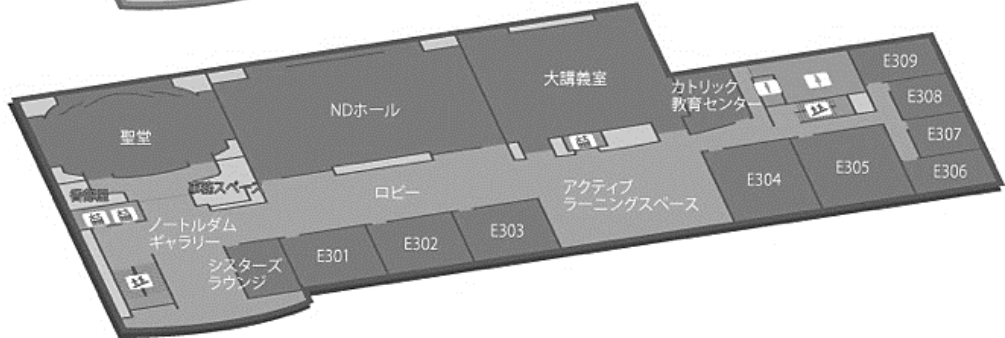
閉会挨拶 山本 英一 (日本語用論学会事務局長・関西大学)

会場平面図

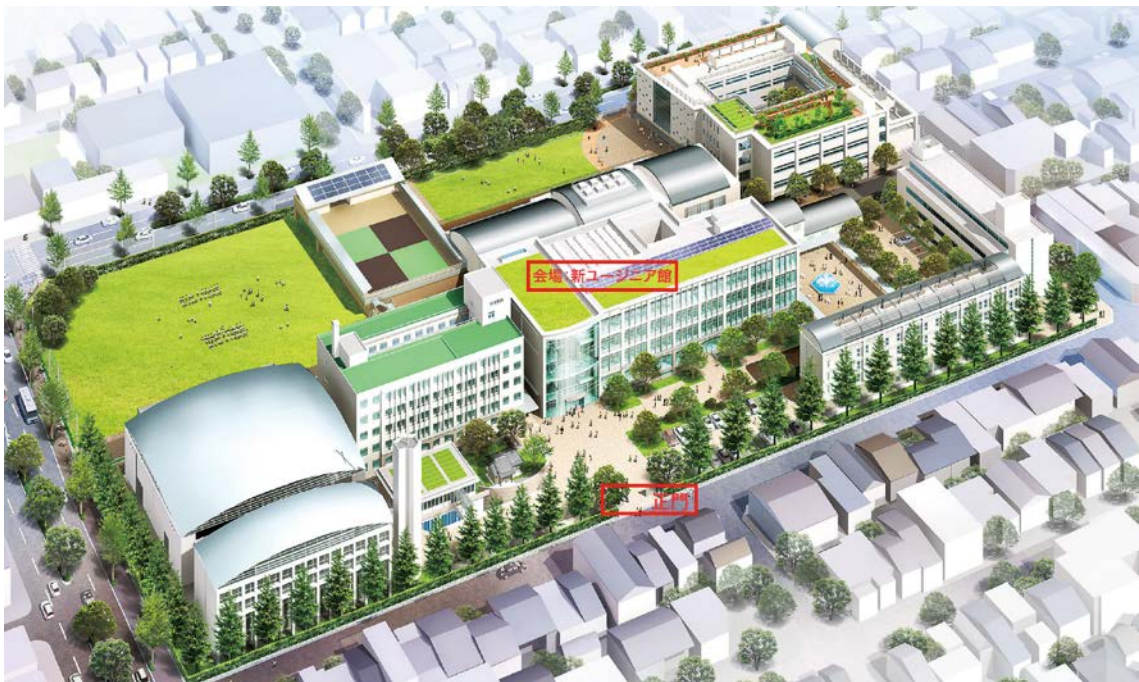
4F



3F



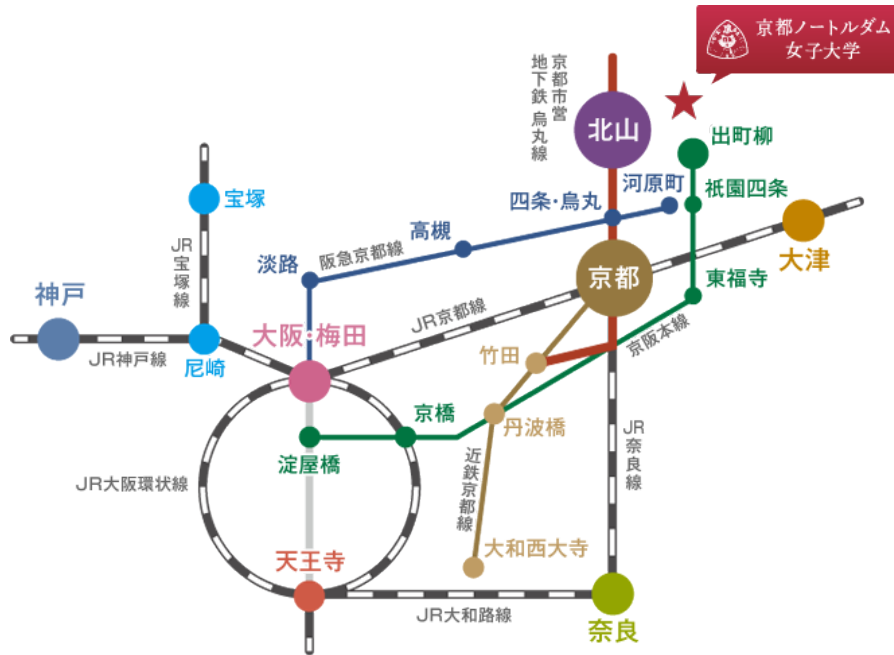
キャンパスマップ



主要駅からのアクセス

所要時間の目安は、「大阪から 52 分」、「三宮から 76 分」、「大津から 33 分」、「奈良から 75 分」です（乗り換え時間除く）。（※2014 年 3 月末現在）

各路線マップ



所要時間

大阪方面 大阪駅から 52分	JR大阪駅	新快速	29分	JR京都駅	地下鉄烏丸線	16分	北山駅	徒歩	7分
	阪急梅田駅	特急	42分	阪急烏丸駅/ 地下鉄四条駅	地下鉄烏丸線	10分	北山駅	徒歩	7分
	京阪淀屋橋駅	特急	54分	京阪出町柳駅	バス	14分	野々神町	徒歩	2分
神戸方面 三ノ宮駅から 76分	JR三ノ宮駅	新快速	53分	JR京都駅	地下鉄烏丸線	16分	北山駅	徒歩	7分
	阪急三宮駅	新快速	68分	阪急烏丸駅/ 地下鉄四条駅	地下鉄烏丸線	10分	北山駅	徒歩	7分
滋賀方面 大津駅から 33分	JR大津	新快速	10分	JR京都駅	地下鉄烏丸線	16分	北山駅	徒歩	7分
奈良方面 奈良駅から 75分	JR奈良駅	快速	52分	JR京都駅	地下鉄烏丸線	16分	北山駅	徒歩	7分
	近鉄大和西大寺駅	急行	34分	近鉄竹田駅	地下鉄烏丸線	21分	北山駅	徒歩	7分

特別講演会のお知らせ

「Elizabeth Closs Traugott 教授 講演会」のお知らせ

スタンフォード大学名誉教授エリザベス・トラウゴット先生をお招きし、下記のとおり講演会を開催いたします。先生の文法化・(間)主観化につづく最近のご研究について拝聴する貴重な機会になると思います。奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。お待ちしております。

講師： Professor Dr. Elizabeth C. TRAUGOTT (Stanford University)

日時： 2014年12月7日(日) 14:30~16:30 (受付 14:00~)

演題： The pivotal role of linguistic context in constructional change

場所： 青山学院大学 17号館6階 本多記念国際会議場

(JR 渋谷駅より徒歩 12分、メトロ表参道駅より徒歩 9分)

青山キャンパス アクセスマップ <http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/access.html>

青山キャンパスのマップ <http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/aoyama.html>

主催： 青山学院大学総合研究所プロジェクト「英日語の『周辺部』とその機能に関する総合的対照研究」 Joseph Dias、Elizabeth C. Traugott、東泉裕子、澤田淳、小野寺典子

共催： 日本語用論学会

(お問い合わせ先：小野寺 典子 onodera@cl.aoyama.ac.jp)

Pre-Conferenceのお知らせ

「日本語用論学会 2014年 Pre-Conference 開催のお知らせ」

年次大会に先立ちまして、英国シェフィールド大学名誉教授のマイケル・パーキンス先生による Pre-Conference 講演会(龍谷大学文学部特別講義)を開催致します。会員の皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

講師： Professor Michael PERKINS (University of Sheffield)

(Emeritus Professor of Clinical Linguistics at Sheffield/英国シェフィールド大学
臨床言語学名誉教授)

日時： 2014年11月28日(金) 15:00~16:30

題目： How Pragmatics Can Go Wrong: An Overview of Clinical Pragmatics

内容： There appears to be no area of human communication that is immune to breakdown. I therefore begin this lecture by locating clinical pragmatics within the broader discipline of clinical linguistics, a sub-discipline of linguistics which emerged during the 1970s. I then consider the wide range of communicative

